

平成29年度実績に係る部局評価書

部局名: 歯学部附属病院

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		歯病対企業という組織間の共同研究契約を初めて締結し、研究成果として口腔粘膜疾患診断など3分野の AIを構築し、国内会議(第36回日本口腔腫瘍学会・学術大会 優秀演題賞受賞を含む4件)で発表したり、プレスリリース等を行って社会から大きな反響を得るなど、初年度より順調に成果が得られていることが評価できる。
【社会貢献】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		診療時間の延長により、毎週約140名、年間約6,500名の患者が来院し、地域病院・医療施設との連携を推進したことが評価できる。
【グローバル化】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		外国人アドバイザーボード(米国人、トルコ人、オランダ人)を新規に設置し、外国人患者の視点から意見を聴取し、院内表示やアメニティ等の課題に改善を図ったことが評価できる。また、多言語(日・英・韓・中)対応アプリのコンテンツのアップデートを実施し、新たに17の症例を追加、外国人患者に対する診療支援体制をさらに充実させたことが評価できる。
【業務運営】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。

【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】 科研費に応募した教員の名簿を作成し、各教室等の長に報告するなど、科研費応募件数増加のための取組に努めていることが認められる。 また、常勤教員公募に占める国際公募の割合、常勤教員基礎データ入力率の向上に意欲的に取り組み、100%を達成している点が評価できる。</p>
